

GDPR (EU 一般データ保護規則) 対応 データ保護ソリューション WITH AVEPOINT

自社の業務形態に即したデータ ポリシーの導入で、情報を適切にコントロール

リスク ベースの概念に基づいて設計された AvePoint のソリューションは、データ作成からアーカイブ・削除までの全段階を通して情報が適切に保護される環境を維持することを可能にします。

組織で働くメンバーの業務形態に基づいて使用できるため、業務の流れを止めたりエンド ユーザーに過剰な負担を強いたりすることなく、自然な形でデータが守られる情報環境を維持することが可能になります。



プライバシー・
バイ・デザイン

実効性のあるポリシーの導入で、
情報を守ります。

データが作成されてから削除される
までの全段階を通じて、分類・
アクセス権限・データ保護・監視を
継続的に実行し、機密情報に対す
るコントロールを維持します。



リスク ベースの
アプローチ

強力なテクノロジーの援用で、コンプライ
アンス チームをサポートします。

リアルタイムでデータ ポリシー違反を検
知・アセスメント・優先順位付けします。

違反データの所有者に対して自動的に
通知を送信する、セキュリティ チームなど
の関連部署に通知を送信してトリアージ
を促すなどのアクションで、データの保護
体制をさらに強化します。



アカウントビリティの
明確化

レポート生成と自動化で、アカウントビ
リティを明確化します。

リスク アセスメント・データ マッピング・イ
ンシデント管理等を情報環境に織り込
みます。

トレンド分析を盛り込んだ継続的なレ
ポート生成で、データ保護が適切に実
行されているエビデンスを作成し、監査
に備えるとともに説明責任を果たすこ
とが可能になります。

AvePoint のGDPR 対策ソリューション導入のメリット

データ保護インパクト アセスメント・データ ディスカバリー・分類・データ マッピングなどを自動実行することにより、効果的なデータ中心型情報保護戦略を確立します。

データを構造化・体系化した状態のまま維持し、「どのデータがどこにあるか」「リスク レベルはどの程度か」などをスピーディーに割り出すことが可能になるとともに、データ収集・管理が GDPR に定められたルールに従い、責任を持って実行される環境を実現します。



データ保護 & プライバシー インパクト アセスメント

AvePoint Privacy Impact Assessment は、プライバシー リスクの査定を組織的に実行する、International Association of Privacy Professionals (IAPP) から限定配布されている無料のツールです。Data Protection Impact Assessments (DPIA) は、プライバシー リスクを検知し、個人情報の収集・使用・開示に関連する問題を未然に防ぐソリューションです。



データ ディスカバリー & マッピング

GDPR では、個人識別情報 (PII) を扱う企業・組織情報に対して、扱う情報について正確に把握すること、および情報インベントリを最新状態に保つことを求めています。

- クラウド・オンプレミス・ハイブリッド クラウドの別を問わず、企業・組織の情報環境に存在するデータに対し、スキャン・タグ付け・分類を実行します。
- 新規データ・編集されたデータに対しても、該当データのコンテキストに従い、自動分類とリアルタイム保護を利用して監視を実行します。
- ブロック・墨消し・暗号化・匿名化・検疫・移動などのアクションを使用して、情報環境内のコンテンツを作成からアーカイブ・削除まで保護します。
- 既定の状態のまま使うことも、カスタマイズすることも可能なタグを活用し、自動化された分類アクションで、データ インベントリを常に最新状態に保ちます。
- データ ライフサイクルの全過程・組織の情報ゲートウェイすべてに対してデータ マッピングを実行することにより、情報の収集をスピードアップし、削除や移動などの対策アクションを実行しやすい環境を構成します。



リスク分析 & 抑制

GDPR では、個人のデータの処理の全過程において、適切な情報保護アクションを導入することを求めています。適切なアクション実行のためには、リスクを定量化することが必要不可欠です。

- カスタマイズも可能なアルゴリズムを実装したリスク計算機能で、理解しやすいリスク レポートを生成します。
- 複数のプラットフォームを対象とした一斉スキャンを実行して、「データの保存場所」「ファイルのタイプ」「リスクの種類」などに基づいたリスク スコアを算出し、データ管理者に提出できるレポートを生成します。
- リスク レポートから直接アクセスできるインシデント管理機能により、データ管理者がレビューを総覧・違反解決を簡単に実行することを可能にします。
- アクセス権限自動コントロール機能により、オンプレミス・クラウド両方を対象に、情報ポリシー違反の権限変更を検知・修正します。



アカウントビリティの明確化

GDPR では、企業・組織に対し、法的側面・規制的側面両方に合致した適切な情報保護ポリシーの導入と、ポリシーの保守が確実に行われる環境の整備を求めています。

- リスク アセスメント・データ ディスカバリー・マッピング、およびリアルタイム情報保護コントロール等の機能により、業務データが適切に保護されている状態を維持することが可能になります。
- KPI (重要業務評価指標)、KCI (主要業績管理指標)、KRI (リスク指標) 等のエクゼクティブ レポート出力機能により、リスクの出現パターンや時系列的トレンドから、改善が必要なエリアをピンポイントで発見し、対策を実行することが可能になります。

**AvePoint 製品・サービスに
関するお問い合わせ**

電話: (03) - 6853 - 6300
E-mail: SalesJP@AvePoint.com



For US Government Organizations:
AvePoint solutions can be
purchased directly from AvePoint
or through the GSA website at
www.GSAadvantage.gov.

AvePoint Japan Webページ: www.avepoint.co.jp
アポイントジャパン 公式ブログ: www.avepoint.co.jp/community